

「石見路ひとり」「望郷神楽ばやし」

キングレコード	http://www.kingrecords.co.jp/nagaiyuko/
永井裕子ブログ	http://blogs.yahoo.co.jp/yucho_nagai
インタビュー	http://www.iwamigin.jp/ohda/

今年4月、大田市は「石見の国おおだ観光大使」を設置し、その記念すべき第1号に、演歌歌手の永井裕子さん（キングレコード所属）を任命しました。永井さんが歌う、ふるさと演歌「石見路ひとり」とB面の「望郷神楽ばやし」は、石見銀山遺跡や三瓶山、石見神楽などが題材になっており、いずれも作詞は、「さざんかの宿」「天城越え」などを手掛けた吉岡治先生、作曲は「浪花節だよ人生は」で知られる四方章人先生です。

「石見路ひとり」は、3月28日の発売後、オリコンの「演歌チャート」で第3位という好成績を収め、4月にはNHK歌謡コンサートにも出演するなど、永井さんの歌声に乗って、大田市が全国に発信されています。

4月3日、吉岡先生、四方先生、プロデューサー小西良太郎先生とともに、竹腰市長を表敬訪問した永井さんは、「石見路ひとり」を熱唱。歌のお礼にと、市長が自慢の尺八で『石見路ひとり』を演奏しました。

同日夜には、大田市駅前にあすてらすホールで新曲披露会があり、集まった約

300人の観客は、永井さんの素敵な歌声と軽妙なトークに魅了されました。翌4日には、新曲のヒットを祈願して、物部神社を参拝し、参道を埋めた約200人の観客の前で歌を奉納しました。

「朝から雨でとても寒かったのに、沢山の方が集まってくださり、皆様の熱気から、『私たちの町の歌だ、応援しよう』という想いが伝わってきて、私自身がものすごく勇気をいただきました。佐賀県出身の永井裕子ですが、今では第二の故郷となった大田市を、観光大使として日本全国へ広めていきます」と永井さんから心のこもったメッセージをいただきました。



永井さんの美声に酔いしれる市長（写真上）。お礼に尺八で「石見路ひとり」を披露（写真下）。



物部神社には大勢の観客が応援に！

キングレコードより好評発売中!!



「石見路ひとり」
c/w
「望郷神楽ばやし」
1,200円



大田⇄広島高速バス「石見銀山号」復活!!

問合せ	石見交通(株)大田営業所
電話	0854-82-0662
時刻表	http://www.iwamigin.jp/ohda/news/hiroshima-jikokuhyou2.pdf

世界遺産登録を目指す石見銀山遺跡への来訪者の増加に対応するため、石見交通(株)が、2年ぶりに広島市と大田市を結ぶ高速バスの運行を再開しました。

広島方面からの来訪者の交通手段としてはもちろん、乗り合いバスとして運行しているため、沿線住民からは生活交通の復活を喜ぶ多くの声が聞かれます。

石見銀山号は、JR広島駅新幹線口と大田バスセンターを結び、1日2往復しています。JR広島駅新幹線口から大田バスセンターまでの運賃は3,300円で、全席自由、予約制ではありません。

この夏は、復活した石見銀山号に揺られ、車窓を流れるのどかな風景を楽しみながらふるさとへ帰ってみませんか。





永井裕子
ながい ゆうこ

「かんぼの宿さんべ」をリニューアル

さひめ野

住 所	大田市三瓶町志学2078-2
電 話	0854-83-3001
H P	http://sahimeno.jp/



さひめ野オープン時の神事の様子

2月末で営業を終えた「かんぼの宿さんべ」が、「四季の宿さひめ野」として新たにオープンしました。今後は、国立公園三瓶山と、石見銀山遺跡の観光の宿泊拠点施設として期待されます。

「かんぼの宿さんべ」を譲り受け、新たに経営にあたるのは、岡山県真庭市の湯原温泉と山口県萩市で旅館3館を営んでいる「松乃家」。会長の松尾二郎さんと常務の松尾積さんは、ともに三瓶町池田の出身です。

宿の名前は、「かねてから生まれ育った地元のために何らかの形で貢献したいと願っていた」という松尾会長と常務が、子どもの頃

三瓶町池田地区から眺めた三瓶山の雄大な姿を原風景として名づけられたとか。

客室や通路のカーペットを張り替えるなど内装のリニューアル工事に加え、調度品なども新調。また、従業員40人のうち8割はかんぼの宿からの再雇用です。

さて、やはり気になるのはお食事。料理の鉄人・大田忠道さんプロデュースによる、地元の食材をいかした創作料理が好評です。

また、「数より満足してもらえるサービスを大切にしたい」と、同社が手がける観光バス事業で、三瓶周遊観光や石見銀山見学への対応や、湯原温泉と三瓶、三瓶と萩市をそれぞれ結び連携を図るなど、嬉しいサービスが盛りだくさんです。

▶
地元食材をふんだんに取り入れた前菜



▶
島根牛を堪能！
「石見銀山雲海鍋」